

「瀬戸内 海の道構想」に係る実証事業等について

1. 実証事業

瀬戸内海の地域資源、人材等を活用し、集客や新たな産業づくり、地域の魅力向上につながるような事業を実証的に実施する。実証事業に取り組む過程で抽出された課題等は「瀬戸内海の道構想」に反映させ、次年度以降のプロジェクトベースを構築する。

テーマ	別紙の5分野及び共通課題に関連するもの ※重層的な取り組みが図れるよう、分野横断的に組み立てが可能
基本的要件	○瀬戸内海地域の資源を活かした事業であること ○瀬戸内海地域のブランド形成や魅力向上を意識した取組みの一環であること ○継続的かつ中長期的な展開がイメージできること ○公益性があり、一定の集客や経済波及効果が見込まれること ○既存の検討・取組み実績があること

(1) 公募事業（予算：1,000万円） 10本程度

- 実施主体：市町や公益法人、NPO法人、協同組合、民間企業等
- 事業内容：
 - 瀬戸内の地域資源、人材等を活用し、集客や新たな産業づくり、地域の魅力向上 等につながるると同時に、「瀬戸内 海の道構想」策定に資する実証的取組み
 - ※地域資源とは、瀬戸内海の特性を発揮しうる食材・観光スポット、遊休施設、企業の所蔵品等、強みとして活かせる可能性のあるものを幅広くイメージ
- 事業費及び助成額：
 - 企画提案に係る事業費のうち「瀬戸内 海の道構想」策定に資する部分について、要望額に応じ予算の範囲内で助成、1事業あたりの上限は設けない
 - ※助成額は、採択後に経費の内容等を精査の上で決定
- 事業期間：採択後から最長平成23年3月31日まで
※構想策定予定の12月までに中間まとめを提出
- 審査方法：「瀬戸内 海の道構想」策定委員等による点数評価等により選定
- スケジュール：募集期間：平成22年7月13日～7月30日（金）※12時必着
選定・発表：平成22年8月上旬予定
- 募集要領：広島県ホームページに掲載（<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/>）

(2) 県実施事業（予算：1,000万円） 5本程度

- 実施主体：県と市町や公益法人、NPO法人、協同組合、民間企業等が連携して実施
- 対象となる事業のイメージ：
 - 広域的な事業、多様なプレイヤーの調整が必要な事業、全県的な基準や規制緩和の検討が必要な事業など、県のコーディネートによる事業効果が高いと思われる取組みを選定

2. 地域資源ブラッシュアップ事業（予算：2,266万円）※緊急雇用対策基金事業を活用

県内の自治体を通じて、瀬戸内海の地域資源を発掘調査し、地域人材を活用して、ブラッシュアップすることにより、「瀬戸内 海の道構想」の策定及び事業化に反映させる。

【事業の流れ】

7月中	地域資源を抽出 ～県内市町へ照会、新規雇用者を募集・採用
8月初旬	資源リスト作成、瀬戸内海全体の魅力向上への寄与が期待されるものを選定
9～12月	各地域で課題等を検討・整理、課題解決に向けた取組みに着手
1～3月	ワークショップ等を通じてブラッシュアップ方策等を検討し、事業化を進める